



第三期香芝市創生総合戦略

1 総合戦略策定の趣旨

国では、平成26年(2014年)に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくこととした上で、同年12月に、国全体の人口の将来像を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定するとともに、5年間の目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

そして令和元年(2019年)、「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、第一期の枠組を引き続き維持し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組む方針を示した。

令和4年(2022年)には、デジタル田園都市国家構想の下、デジタルの力を活用して地方創生を加速化かつ深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改訂された。

本市においても、平成28年(2016年)3月に「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和3年(2021年)3月には「第二期香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、継続的に取組を進めてきており、令和6年度(2024年度)をもって計画期間が終了するが、国のこうした方針を踏まえ、引き続き、総合戦略を策定し、取組を進める。

2 総合計画やD X推進計画との関係

国の第一期及び第二期総合戦略の目的である「人口減少克服・地方創生」や、デジタル田園都市国家構想の目的である「デジタルの力を活用した地方の社会課題の解決」は、これからのまちづくりに欠かせない要素であり、総合計画の推進と不可分であることから、第五次総合計画に示す施策及び主な取組のうち、「人口減少克服・地方創生」の実現に資する施策を抽出して示すことをもって、総合計画内に総合戦略が包含しているものと位置付ける。

また、令和6年（2024年）3月には総合計画をデジタル活用の視点から下支えする計画として、「香芝市D X推進計画」を策定した。同計画の基本方針において、「（1）デジタル化による便利で快適な市民生活」、「（2）デジタル化による徹底した業務効率化」及び「（3）デジタル化による強固な情報セキュリティ対策」を掲げ、それぞれの分野において具体的な施策を定め、推進している。そのため、本戦略は「香芝市D X推進計画」の上位計画として整合を図りながら、デジタル田園都市国家構想の趣旨にのっとり、社会課題の解決を目指すものとする。

3 地域ビジョン(本市の目指すべき理想像)

国は、地方版総合戦略の策定に当たって、地域が抱える社会課題などを踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地方創生の取組を推進していくため、目指すべき理想像として「地域ビジョン」を設定することを求めている。

本市では、令和3年（2021年）に、総合計画で「笑顔をもっと 元気をずっと ～誰もが輝く多彩なまち カラフルかしば～」を令和14年度（2032年度）の目指す将来像として設定している。

総合戦略は総合計画に掲げる目指す将来像を、地方創生の観点から進めていくものであるため、この目指す将来像を本市の「地域ビジョン」として位置付ける。

4 第三期総合戦略の方向性

第三期総合戦略は、第二期の方針を踏まえつつ、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に掲げられた基本目標に対応する形で4つの基本目標を設定し、施策を推進する。

各施策では、デジタル技術の活用とともに、施策間連携及び地域間連携をより一層進め、地方創生の取組を加速化かつ深化させる。

4つの基本目標	①香芝に仕事をつくる
	②香芝への新しいひとの流れをつくる
	③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	④安心して暮らすことができる魅力的な香芝をつくる

また、国のデジタル田園都市国家構想では、「心豊かな暮らし」(Well-being)と、「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現することが掲げられている。本市においても、第三期総合戦略で、地域ビジョンである「誰もが輝く多彩なまち」に向け、市民一人一人の心豊かな暮らしの実現は欠かせないと考えられることから、横断的目標として定める。

4つの基本目標の達成に向けて施策を展開し、各施策の相乗効果によって、市民一人一人の心豊かな暮らしの実現を目指す。

横断的目標	香芝での心豊かな暮らしの実現
-------	----------------

横断的目標の達成状況については、市民アンケートを用いて、市民の主観による地域幸福度(Well-being)指標を調査することで、測定する。

指標名	地域幸福度(Well-being)指標における市民の幸福度
現状値	7.3点/10点(R6年値)
目標値	令和10年度:7.6点以上/令和14年度:8.0点以上

地域幸福度(Well-being)指標・・・国が進めているデジタル田園都市国家構想で推奨される市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-being)」を数値化及び可視化した指標のこと。

なお、第3章でも記載のとおり、総合計画の各施策分野はSDGsの17の目標を関連付けて推進しており、総合計画全体で「持続可能な環境・社会・経済」の実現を図っている。

5 第三期総合戦略の基本目標

(1) 香芝に仕事をつくる

持続可能な産業の基盤を実現するため、魅力的な仕事や雇用機会を十分に創出し、就きたい職業の希望をかなえ、安心して働けるようにすることが重要である。

このために、市内企業の生産性を全般的に引き上げる必要があり、設備投資、技術開発、販路開拓及び商品開発等への支援を行うとともに、市外からの企業誘致や市内企業の増設等を促進し、企業の競争力強化を図る。加えて、香芝市商工会や地元企業等と連携し、市内での創業希望者に対する経営や事業計画に関する実践的な支援を継続するとともに、市内産業に関する情報発信や企業間及び企業と市民間での交流促進、子どもの職業体験等を実施する。

また、農商工連携による独自製品の開発や市が有する有形無形資産の価値向上を図る取組を実施し、地域経済の活性化を後押しする。

個人の価値観、ライフスタイル及びワークスタイルの多様化に応じ、誰もがその力を発揮できる就業環境や自分の居場所を見いだせる環境づくりを通じて、仕事の間であり、生活の間である地域全体の魅力を高める。

具体的施策（基本計画）

総合計画における施策		主な取組
12	人権・多様性の尊重	②男女共同参画によるまちづくりの推進
17	商工業の振興	①企業の活性化 ②創業の促進
18	農業の振興	①農業体制の整備及び市内農作物の魅力創造
19	観光の振興	①観光資源の魅力向上
32	情報とICTの利活用	②ICTを活用した市民の利便性の向上及び業務の効率化

デジタル技術の活用例

- ・市内企業のDX推進支援
- ・市内産業情報や、地域ブランド「KASHIBA+」などの積極的な発信

成果指標

施策により、本市に「仕事」がつくられているかを、あらゆる角度から、客観的に測定するため、成果指標を以下に設定する。

指標名	地域幸福度（Well-being）指標における「雇用・所得」の偏差値（客観）
現状値	49.2（R6年値）
目標値	令和10年度:53.0／令和14年度:57.0

(2) 香芝への新しいひとの流れをつくる

活気のある街を実現するため、これまで本市では、住宅都市としての強みを生かして移住及び定住促進の施策を推進してきたが、令和元年（2019年）以降、転入よりも転出が上回っている。そのため、これらの施策を引き続き展開するだけでなく、若者が香芝を訪れ、住みたいという希望を抱くような魅力ある学びの場及び仕事の場づくり並びに都市計画再編の取組などを行うとともに、その情報を適切に発信していくことで本市の魅力を伝え、人口の増加を図る。

また、将来的な移住にもつながるよう、市外の方と本市とのつながりを築き、香芝への新しいひとの流れをつくることも重要である。このために、観光や買い物などを入口とし、香芝や香芝の人々と多様な在り方で関わる関係人口の創出及び拡大に取り組むとともに、企業や個人による寄附や投資を呼びかけるなど、本市の地方創生の取組への積極的な関与を促す取組を進める。

具体的施策（基本計画）

総合計画における施策		主な取組
12	人権・多様性の尊重	②男女共同参画によるまちづくりの推進
14	文化芸術の振興・多文化共生	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解・国際交流の推進
16	歴史文化財の保存と継承・展開	①二上山博物館機能の充実 ②歴史文化財の保護・啓発
17	商工業の振興	①企業の活性化 ②創業の促進
18	農業の振興	①農業体制の整備及び市内農作物の魅力創造
19	観光の振興	①観光資源の魅力向上
25	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	①良好な市街地の形成
26	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	①公園整備の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
31	歳入の確保と財源の創出	③自主財源の確保
32	情報とICTの利活用	①市政情報の発信及び広報力の強化 ②ICTを活用した市民の利便性の向上及び業務の効率化

デジタル技術の活用例

- ・SNSなどを用いたシティプロモーション
- ・「かしば文化財観光ナビ」などを用いた文化財や観光資源の情報発信

成果指標

施策により、移住や定住が促され、「新しいひとの流れ」がつくられているかを測定するため、成果指標を以下に設定する。

指標名	人口の社会増減数
現状値	-62人（R5年値）
目標値	令和10年度：-31人／令和14年度：-20人

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

全国的な少子化の傾向は、若い世代での未婚率の増加や晩婚化に伴う第1子出産年齢の上昇、就業状況の変化に伴う結婚、出産及び子育てに対する経済的負担感や子育てと仕事の両立のしにくさなどの要因が複雑に絡み合っている。

こうしたことを踏まえ、本市では、安心して子どもを産み育てられ、子育て世代を中心に選ばれる街となるよう、結婚の希望をかなえる取組の推進、出産から子育てに至るあらゆる面での支援の充実や支援制度の設計、男女の働き方改革、仕事と子育ての両立支援など、本市の実情に応じた少子化対策の取組をデジタル技術も活用し、地域や企業などと連携して推進する。

具体的施策（基本計画）

総合計画における施策		主な取組
01	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	①妊産婦の健康づくりの推進 ②乳幼児の健康づくりの推進
02	子育て支援の充実	①子育て家庭への支援 ②児童虐待防止の推進
03	就学前教育・保育の充実	①就学前教育・保育の推進 ②就学前教育・保育環境の整備
04	学校教育の充実	①学びの推進・支援 ②安心して学べる教育環境の整備
05	家庭・地域・学校の連携	①地域ぐるみでの子どもの支援 ②青少年の健やかな育成
10	障害者福祉の充実	①障害者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり
11	生活困窮者支援の充実	①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実
12	人権・多様性の尊重	②男女共同参画によるまちづくりの推進
32	情報とICTの利活用	②ICTを活用した市民の利便性の向上及び業務の効率化

デジタル技術の活用例

- ・「香芝市子育てアプリ」を用いた子育て世代への支援
- ・学校のICT環境整備や、保育所・幼稚園・認定こども園における連絡等のデジタル化
- ・ホームページやSNSによる即時性の高い情報発信

成果指標

施策により、本市で結婚し、子どもを産み、育てたいという「希望」が実際にかなえられているかを測定するため、成果指標を以下に設定する。

指標名	年少(0歳～14歳)人口(10月1日時点)
現状値	10,962人(R5年値)
目標値	令和10年度:10,912人／令和14年度:10,791人

(4) 安心して暮らすことができる魅力的な香芝をつくる

市民が住み続けたいと思えるような香芝をつくるために、地域における防災、減災や地域の交通安全の取組を進め、安心を得られるようにするだけでなく、医療、福祉、商業等の生活機能及びコミュニティバス等の地域交通の維持及び確保を進めるとともに、既存の公共施設、不動産等のストックを公民連携により最大限活用するなどストックマネジメントに取り組むことで、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実と活性化を図る。

また、急速な高齢化にも対応し、人々が地域で安心して暮らすことができるよう、日常生活の支援や健康づくり、医療、福祉サービス等の機能を確保し、地域とのつながりを維持できるようにする。

さらに、豊かな自然、観光資源といった地域資源や文化、スポーツなど本市の特色を最大限に生かし、まちの魅力の向上を図る。

これらの方向性を実現するため、行政におけるD Xを更に推進する。

【具体的施策（基本計画）】

総合計画における施策		主な取組
06	地域福祉の推進	①総合的な福祉サービスの提供 ②地域で支え合う仕組みづくり
07	医療提供体制の充実	①地域医療体制の充実 ②感染症対策の推進
08	健康づくりの推進	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進
09	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備
10	障害者福祉の充実	①障害者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり
11	生活困窮者支援の充実	①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実
12	人権・多様性の尊重	②男女共同参画によるまちづくりの推進
13	地域コミュニティの醸成・活性化	①地域コミュニティの形成支援 ②市民公益活動団体の活動支援
14	文化芸術の振興・多文化共生	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解・国際交流の推進
15	生涯学習とスポーツ活動の充実	①生涯学習機会の充実 ②スポーツ活動の充実 ③図書館機能の充実
16	歴史文化財の保存と継承・展開	①二上山博物館機能の充実 ②歴史文化財の保護・啓発
18	農業の振興	①農業体制の整備及び市内農作物の魅力創造
20	災害対策の強化	①災害対応能力の向上 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実
21	生活安全対策の強化	①防犯意識の向上 ②消費者保護の推進
22	交通安全対策の強化	①交通安全対策の推進 ②交通安全施設の整備
23	環境問題への取組強化	②環境保全対策の推進
24	自然環境・景観の保全	①美しい自然環境及び景観の保全
25	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	①良好な市街地の形成 ②持続可能な地域公共交通の確立
26	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
27	道路整備の充実	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
28	上水道の基盤強化	—
29	下水道の整備	①下水道の整備・更新
30	行財政運営の最適化	③公有財産の維持管理・活用
32	情報とICTの利活用	②ICTを活用した市民の利便性の向上及び業務の効率化

デジタル技術の活用例

- ・電子図書館の充実や二上山博物館のDX化による魅力の向上
- ・行政サービスのオンライン化による手続の簡素化
- ・デジタル化の浸透による市民の情報格差（デジタルデバイド）対策
- ・AIチャットボットによる時間にとらわれない市民からの問合せ対応

成果指標

施策により、市民が生活に対する安心感や、まちへの魅力を感じることで、住み続けたいと思っているかを測定するため、成果指標を以下に設定する。

指標名	市民アンケート調査における今後も香芝市に住み続けたいと思う市民の割合
現状値	75.8%（R6 年値）
目標値	令和 10 年度:80%／令和 14 年度:85%

また、施策の推進に資するためのデジタル技術が活用されているかを測定するため、もう 1 つの成果指標として以下を設定する。

指標名	地域幸福度（Well-being）指標における「デジタル生活」の偏差値（客観）
現状値	45.3（R6 年値）
目標値	令和 10 年度:48.0／令和 14 年度:52.0

第五次総合計画・第三期総合戦略の対応表【一覧】

総合戦略の基本目標				(1)	(2)	(3)	(4)
				香芝に 仕事をつくる	香芝への新しいひとの 流れをつくる	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	安心して暮らすことができる魅力的な香芝をつくる
総合計画の政策・施策				香芝での心豊かな暮らしの実現			
01	未来を創造する子どもたちのために。 (子育て・教育)	01	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援			●	
		02	子育て支援の充実			●	
		03	就学前教育・保育の充実			●	
		04	学校教育の充実			●	
		05	家庭・地域・学校の連携			●	
02	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。 (健康・福祉)	06	地域福祉の推進				●
		07	医療提供体制の充実				●
		08	健康づくりの推進				●
		09	高齢者福祉の充実				●
		10	障害者福祉の充実			●	●
		11	生活困窮者支援の充実			●	●
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。 (人権・協働・文化)	12	人権・多様性の尊重	●	●	●	●
		13	地域コミュニティの醸成・活性化				●
		14	文化芸術の振興・多文化共生		●		●
		15	生涯学習とスポーツ活動の充実				●
		16	歴史文化財の保存と継承・展開		●		●
04	まちの活力と魅力の向上のために。 (産業・観光)	17	商工業の振興	●	●		
		18	農業の振興	●	●		●
		19	観光の振興	●	●		
05	まちと人の安全・安心のために。 (安全・安心)	20	災害対策の強化				●
		21	生活安全対策の強化				●
		22	交通安全対策の強化				●
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。 (自然・環境・都市基盤)	23	環境問題への取組強化				●
		24	自然環境・景観の保全				●
		25	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成		●		●
		26	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実		●		●
		27	道路整備の充実				●
		28	上水道の基盤強化				●
		29	下水道の整備				●
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	30	行財政運営の最適化				●
		31	歳入の確保と財源の創出		●		
		32	情報とICTの利活用	●	●	●	●
		33	行政組織の活性化・組織力の強化				

